



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 高圧ガス工業株式会社  
コード番号 4097 URL <http://www.koatsugas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹内 弘幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 大北 隆行

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 06-6311-1363

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,415	10.1	2,335	18.6	2,467	7.8	1,363	△1.2
23年3月期第2四半期	32,153	7.2	1,969	49.9	2,286	42.9	1,381	63.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,123百万円 (19.7%) 23年3月期第2四半期 938百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.74	—
23年3月期第2四半期	25.04	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	63,882	37,061	56.1	650.71
23年3月期	65,916	36,338	53.4	639.08

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 35,866百万円 23年3月期 35,229百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	3.2	4,300	△3.3	5,000	△2.2	2,700	△1.2	48.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	55,577,526 株	23年3月期	55,577,526 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	458,822 株	23年3月期	453,106 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	55,121,562 株	23年3月期2Q	55,154,110 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による停滞から持直し傾向にあるものの、欧州金融市場の動揺が世界経済に変調をもたらし、円高の長期化、株安の進行などにより、景気の先行きに対する不透明感を強めながら推移しました。

このような状況のもと、グループ全体の連携や販売体制の強化をはかるとともに、効率化とコスト削減に努めながら積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は354億15百万円（前年同期比10.1%増加）、営業利益は23億35百万円（前年同期比18.6%増加）、経常利益は24億67百万円（前年同期比7.8%増加）、四半期純利益は13億63百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、東日本大震災の影響を受け、鉄鋼、自動車、電機、化学、半導体など仕向け先全般にわたり先行きが不透明な状況のもと、一時的な需要の回復に支えられながら推移しました。

このような事業環境のなか、容器にガスを充填して供給するシリンダーガスビジネスの収益力強化のため、地域に密着した営業を展開し、物流面における効率化と安定供給体制の強化をはかりながら、積極的な営業活動を行なってまいりました。

主力製品の『溶解アセチレン』は、建設、橋梁が公共工事等の減少による影響もありましたが、売上高は前年同期並みとなりました。『その他工業ガス等』では、酸素、窒素、アルゴンが鉄鋼、化学、非鉄金属、電機、半導体向けなどの需要が減少しましたが、LPガス等の石油系ガスの需要の増加と輸入価格の上昇に伴ない、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の凍結や先送りなどの影響を受けましたが、設備関連機器等のスポット需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、各種シリンダーガスの需要の低迷により中容器は減少したものの、特殊容器が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は269億20百万円（前年同期比6.8%増加）、営業利益は22億28百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、住宅着工件数に回復の兆しがみられるものの、東日本大震災の影響や円高が長期化するなか、依然として厳しい状況が続きました。

『接着剤』は、ペガールが新製品の開発により、塗料用の需要が、建築、コーティング向けに伸長し、また、粘着用テープ向けの需要も増加しました。シアノンは、海外向けの需要が円高の影響を受け減少しましたが、国内向けの需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、遮熱塗料クールトップ、防水保護塗料HPトップなどの建築向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は80億69百万円（前年同期比23.1%増加）、営業利益は5億93百万円（前年同期比73.6%増加）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業は、LSIカードは前年同期を下回ったものの、新興国向けの容器等の需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億25百万円（前年同期比2.6%増加）、営業利益は53百万円（前年同期比6.9%減少）となりました。

(売上高内訳)

(単位：百万円)

事業	区 分	第 78 期 第 2 四半期連結 累計期間	第 79 期 第 2 四半期連結 累計期間	増減額	増減率
ガス事業	溶解アセチレン (水酸化カルシウムを含む)	2,676	2,676	△0	△0.0%
	その他工業ガス等	13,188	13,595	406	3.0%
	溶接溶断関連機器	7,215	7,846	630	8.7%
	容器	1,445	1,882	437	30.2%
	その他	519	783	263	50.6%
	設備賃貸収入	138	136	△2	△1.7%
	合計	25,183	26,920	1,736	6.8%
化成品事業	接着剤	1,965	2,060	94	4.8%
	塗料	3,068	3,977	908	29.6%
	その他	1,497	2,025	527	35.2%
	設備賃貸収入	22	6	△16	△70.7%
	合計	6,554	8,069	1,514	23.1%
その他事業	L S I カード	283	264	△18	△6.5%
	その他	131	160	29	22.2%
	合計	414	425	10	2.6%
合 計		32,153	35,415	3,262	10.1%

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億33百万円減少して638億82百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、売上債権が減少し前連結会計年度末に比べ16億5百万円減少し、384億2百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却費や株式市況の下落による投資有価証券の評価額の減少などにより前連結会計年度末に比べ8億64百万円減少し、254億80百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未払法人税等及び役員退職慰労引当金の減少などにより前連結会計年度末に比べ27億56百万円減少して268億21百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、その他有価証券評価差額金が減少したものの利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加して370億61百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、129億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億30百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、12億88百万円(前年同期比34.4%減少)となりました。

これは主に、法人税等の支払い額が14億49百万円及び仕入債務の減少額が5億24百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が24億49百万円、減価償却費が7億45百万円及び売上債権の減少額が8億88百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、5億29百万円(前年同期は37百万円の獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が4億49百万円及び投資有価証券の取得による支出が1億7百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、14億91百万円(前年同期比35.2%増加)となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出が10億60百万円及び配当金の支払いが3億84百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成23年5月13日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,672	12,941
受取手形及び売掛金	21,544	20,668
商品及び製品	2,225	2,337
仕掛品	358	438
原材料及び貯蔵品	1,024	1,069
繰延税金資産	764	772
その他	185	393
貸倒引当金	△204	△219
流動資産合計	39,571	38,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,695	4,546
機械装置及び運搬具(純額)	2,074	1,893
土地	11,383	11,383
建設仮勘定	17	120
その他(純額)	733	670
有形固定資産合計	18,903	18,613
無形固定資産		
のれん	175	155
その他	251	215
無形固定資産合計	427	371
投資その他の資産		
投資有価証券	5,405	4,904
繰延税金資産	581	653
その他	1,140	1,015
貸倒引当金	△113	△78
投資その他の資産合計	7,013	6,494
固定資産合計	26,344	25,480
資産合計	65,916	63,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,888	14,364
短期借入金	4,521	3,516
1年内返済予定の長期借入金	2,051	47
未払法人税等	1,447	850
賞与引当金	1,059	1,002
その他	1,587	1,429
流動負債合計	25,555	21,210
固定負債		
長期借入金	1,783	3,691
退職給付引当金	615	470
役員退職慰労引当金	621	140
繰延税金負債	426	392
負ののれん	4	2
その他	570	913
固定負債合計	4,022	5,611
負債合計	29,577	26,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,745	2,745
利益剰余金	29,046	30,024
自己株式	△227	△227
株主資本合計	34,449	35,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780	438
その他の包括利益累計額合計	780	438
少数株主持分	1,109	1,194
純資産合計	36,338	37,061
負債純資産合計	65,916	63,882



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	32,153	35,415
売上原価	23,679	25,390
売上総利益	8,474	10,025
販売費及び一般管理費	6,504	7,689
営業利益	1,969	2,335
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	81	78
受取手数料	55	34
負ののれん償却額	9	1
持分法による投資利益	48	—
その他	202	228
営業外収益合計	401	346
営業外費用		
支払利息	45	41
環境対策費	—	122
その他	38	50
営業外費用合計	84	214
経常利益	2,286	2,467
特別利益		
投資有価証券売却益	183	—
特別利益合計	183	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5	15
ゴルフ会員権評価損	13	2
役員退職慰労金	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92	—
特別損失合計	121	18
税金等調整前四半期純利益	2,348	2,449
法人税、住民税及び事業税	993	856
法人税等調整額	△35	119
法人税等合計	958	975
少数株主損益調整前四半期純利益	1,390	1,473
少数株主利益	8	109
四半期純利益	1,381	1,363

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,390	1,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△448	△349
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	—
その他の包括利益合計	△451	△349
四半期包括利益	938	1,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937	1,030
少数株主に係る四半期包括利益	1	93

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,348	2,449
減価償却費	741	745
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22	△20
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△57
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△38	△144
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	36	△481
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△94	△144
受取利息及び受取配当金	△85	△82
支払利息	45	41
持分法による投資損益(△は益)	△48	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△183	—
投資有価証券評価損益(△は益)	5	15
ゴルフ会員権評価損	13	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,134	888
たな卸資産の増減額(△は増加)	69	△236
仕入債務の増減額(△は減少)	937	△524
未払消費税等の増減額(△は減少)	27	28
その他	△109	216
小計	2,612	2,697
利息及び配当金の受取額	85	82
利息の支払額	△45	△41
法人税等の支払額	△686	△1,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,966	1,288
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42	△42
定期預金の払戻による収入	42	42
有形固定資産の取得による支出	△258	△449
投資有価証券の取得による支出	△43	△107
投資有価証券の売却による収入	297	—
その他の支出	△10	△26
その他の収入	52	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	37	△529
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△766	△1,060
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,040
配当金の支払額	△331	△384
その他の支出	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,102	△1,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	903	△730
現金及び現金同等物の期首残高	10,263	13,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,166	12,905

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,183	6,554	414	32,153	—	32,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,183	6,554	414	32,153	—	32,153
セグメント利益	2,092	342	57	2,492	△523	1,969

(注) 1 セグメント利益の調整額△523百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,920	8,069	425	35,415	—	35,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,920	8,069	425	35,415	—	35,415
セグメント利益	2,228	593	53	2,876	△540	2,335

(注) 1 セグメント利益の調整額△540百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。